

「地元チームを日本一にするには？」

パンサーズをもっと強く、市立五常小の総合的な学習の時間の取り組みで

◎画像あり

市立五常小学校の6年生が、週2時間・年間70時間ある総合的な学習の時間で、枚方を本拠地とする男子バレーボールチーム・パナソニックパンサーズがどうすれば日本一になれるかをテーマに取り組んでいる。現在の6年生が4年生のときにパンサーズの選手から直接バレーボールを教えてもらう体験授業を経験したことなど、同チームに関心が高い児童が多かったことから実現したもの。4月から下調べなどをスタートし、6月には実際に児童が選手とバレーボール体験などを通して触れ合った。その中で感じたことをもとに同チームの認知度向上やファン拡大の方法を児童が自主的に模索していく。1学期は五常小学校の各学年に、2学期は五常小校区の地域にそれぞれ児童が同チームの魅力をプレゼンするなど、取り組みの規模を広げていく予定。

★ 総合的な学習の時間とは、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する学習。小学6年生は年間70時間が標準時間数として文部科学省の学習指導要領で定められている。

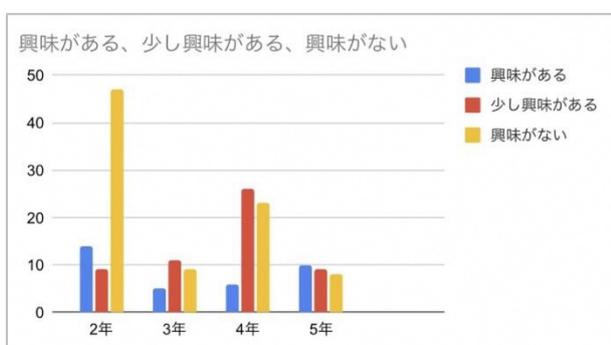
★ 同時間のテーマを6年生の担当教諭が話し合う中で「この学年にしかできない、この学年に相応しいものにしたい」との思いがあり、五常小学校とパンサーズのこれまでのつながりから児童らと話し合い、今回の企画が生まれた。地域での活動や学校での体験授業に力を入れるパンサーズ側は「チームに興味を持ってきて、一緒に地域を盛り上げてくれるのはありがたい。全面協力します」と快諾。5月下旬に打ち合わせを行い、6月10日にはZOOMで児童と選手が初めて顔を合わせた。6月24日には児童らがパナソニックアリーナを見学し、バレーボール体験などを行った(右写真)。



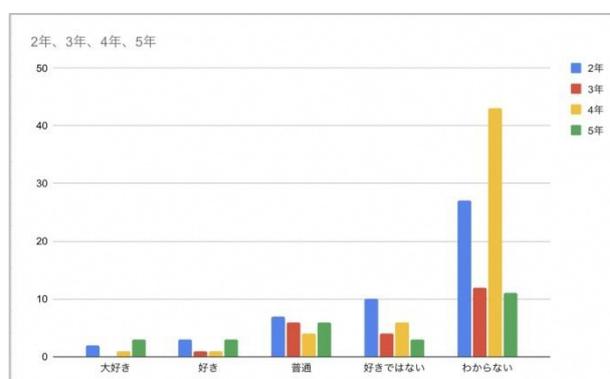
(2ページ目へ)

★ これまでに、校内でのパンサーズの認知度などの状況を把握するため、全学年対象のアンケートを実施し、下記グラフに児童らがまとめた。その結果を踏まえ、パンサーズの認知度向上やファン拡大につなげるため下記のことを児童ら自ら提案し、行っている。

- ・給食の時間に、アンダーグラフ作詞・作曲のパンサーズ応援ソング「PARABORA」を放送。
- ・各学級の教室にパンサーズの応援旗を掲示してくれるよう担任教師との交渉。
- ・パンサーズの魅力を伝えるプレゼンを作成、朝学習の時間に各学年の教室に出向いて発表。
- ・個人懇談会で学校を訪れる保護者にパンサーズをアピールするため、教室前に張り出すポスターを作成。



▲「パンサーズに興味があるか」という質問に対しての2年生～5年生の回答



▲「パンサーズは好きか」という質問に対しての2年生～5年生の回答

★ 9月9日にはこれまでの授業の成果を、パンサーズが所属する組織のトップであるスポーツマネジメント推進室スポーツ事業センターの所長に児童から直接中間報告を行う予定。また、2学期には、地域でバレーボールを行っている枚方市スポーツ推進委員の協力を得たり、保護者を巻き込んだ授業をしたりするなど、地域や保護者にまで規模を広げて進めていく。

<お問い合わせ>

市立五常小学校 ☎ : 050-7102-9020、FAX : 072-854-0441

市長公室 広報プロモーション課 ☎ : 072-841-1258、FAX : 072-846-5341